

22世紀の都市の森づくり



植樹祭ではボランティア会員と親子が一緒に植樹した



森づくりエリアの丘に立ってこれからの森づくりを考えた



定例会議を終えて10年経った森での草刈作業について。



植樹祭は家族での参加者が多く家族単位に分かれ樹を植えた。



夏休みには地域の子供たちを迎えて昆虫観察会を行った

東 東京都立神代植物公園は1961年に開園し、現在48haの面積を有する東京都立では唯一の植物園です。この植物園に隣接する「都市の森づくりエリア」において、植樹作業から育成管理作業までの約100年間という長いスパンで世代を重ねた森づくり活動をボランティア・企業・東京都の三者の協働により展開しています。

「22世紀の森づくり・神代」では初期段階で森の基礎を作るため当初の5年間で約600本を植栽し、以後、補植、間伐等の管理を行いつつ、じっくりと森を育てています。活動開始から10年を経て多様な樹種からなる「都市の森」が成立しつつ

あり、今では野鳥や昆虫の姿が多く見られるようになりました。

また、無料区域として一般開放されていることから、散策、生きもの観察、木の実拾い等、年間を通して多くの人々が訪れております。

植樹活動が終了段階となった平成19年からは、夏休みのイベントとして森の昆虫観察会やクラフト教室、隣接する畑での野菜栽培など新たな活動の企画・実施を行っております。

このほか、専門家を招いた勉強会、他地域のボランティア団体との交流会も積極的に開催する等、様々な活動を自主的かつ活発に行っており、現在では、家族で活動に参加する住民も増えています。

■所在地

東京都調布市深大寺元町5-31-10

■活動内容

- ・「都市の森づくりエリア」における補植・間伐等の管理
- ・森の昆虫観察会（夏休み期間中）

■活動主体名

22世紀の森づくり・神代 <http://sites.google.com/site/iindai22s/>

■応募者又は推薦者・担当部局名・連絡先等

22世紀の森づくり・神代
電話番号：042-381-2112

